

令和8年(上半期)

消防活動概要

(火災・救急・救助他)

丹 波 市 消 防 本 部

目 次

消防活動総括表	1
1 火災の概要	2
(1) 火災状況（前年との比較）	3
(2) 地域別火災状況	4
(3) 5年間（上半期）の火災の推移	5
(4) 月別・地域別・火災種別状況	5
(5) 曜日別火災状況	6
(6) 時間別火災状況	6
(7) 火災原因状況	7
(8) 火災覚知状況	7
2 救急の概要	8
(1) 事故種別救急出動状況	9
(2) 5年間（上半期）の救急出動の推移	9
(3) 地域別救急出動状況	10
(4) 事故種別・救急隊別救急出動状況	10
(5) 月別救急出動状況	11
(6) 曜日別救急出動状況	11
(7) 時間別救急出動状況	11
(8) 事故種別・傷病程度別搬送状況	12
(9) 収容先別搬送状況	12
(10) 年齢別搬送状況	12
(11) 覚知から現場到着までの所要時間	13
(12) 覚知から病院収容までの所要時間	13
(13) 応急（救命）処置状況	14
(14) 心肺停止傷病者発生状況	14
(15) 応急手当の実施状況	14
3 救助の概要	15
(1) 救助出動状況	15
(2) 5年間（上半期）の救助出動の推移	15
4 その他の災害出動の状況	16
5 応援・受援状況	16
6 緊急通報センター等	16

消防活動総括表

(単位:件)

区 分	種 別	令和8年上半期	令和7年上半期	比較 (△:減少)
火災 件数	総 数	24	21	3
	建物火災	9	9	0
	林野火災	0	2	△ 2
	車両火災	3	1	2
	その他の火災	12	9	3
救急 出動件数	総 数	1,668	1,761	△ 93
	火 災	4	4	0
	交通事故	85	72	13
	一般負傷	268	270	△ 2
	急 病	1,098	1,212	△ 114
	転院搬送	163	152	11
	上記以外	50	51	△ 1
救助 出動件数	総 数	35	32	3
	火 災	0	0	0
	交通事故	13	14	△ 1
	水難事故	1	1	0
	機械事故	0	1	△ 1
	建物事故	15	12	3
	上記以外	6	4	2
その他の災害 出動件数	総 数	101	100	1
	警 戒	8	5	3
	誤 報	21	17	4
	虚 報	0	0	0
	支 援	67	60	7
	その他	5	18	△ 13
応援 受援	市外応援	8	0	8
	市内受援	3	2	1

1 火災の概要

令和 8 年上半期の火災件数は 24 件（前年同期より 3 件増）である。

火災の種別では、建物火災 9 件（前年同期と同数）、林野火災 0 件（前年同期より 2 件減）、車両火災 3 件（前年同期より 2 件増）、その他火災 12 件（前年同期より 3 件増）であった。

損害額は 27,937 千円（前年同期より 6,708 千円増）、焼損床面積は 734 m²（前年同期より 527 m²増）、焼損棟数は 13 棟（前年同期より 2 棟増）、り災世帯数は 10 世帯（前年同期より 4 世帯増）で、り災人員は 10 人（前年同期より 7 人減）であった。火災による死者はなく（前年同期より 1 名減）、負傷者は 4 名（前年同期と増減なし）である。

火災の発生原因は、焼却火 14 件、配線器具 2 件、たばこ、ストーブ、焼却炉の火の粉、取灰が各 1 件、不明 4 件であり、焼却行為により火勢が拡大し火災に至ったものが他の発生原因と比べかなり多い状況である。

今後も消防団や関係機関との連携を強化するとともに、火災予防の啓発活動を積極的に行い、市民の防火意識の高揚を図り、火災の発生時には初動体制の確立として、初期消火、避難誘導及び消防機関への通報を徹底するよう指導し、火災の減少と被害の軽減に努めていかなければならない。

火災状況(前年との比較)

区 分 \ 年 別			令和8年上半期	令和7年上半期	比較増減 (△:減少)
火災件数	総 数		24	21	3
	建物火災		9	9	0
	林野火災		0	2	△ 2
	車両火災		3	1	2
	その他の火災		12	9	3
焼損棟数	総 数		13	11	2
	全 焼		3	3	0
	半 焼		1	1	0
	部 分 焼		4	2	2
	ぼ や		5	5	0
焼損面積	建物床面積 (㎡)		734	207	527
	建物表面積 (㎡)		7	45	△ 38
	林野 (a)		4	3	1
死傷者	死 者		0	1	△ 1
	負 傷 者		4	4	0
り災世帯	総 数		10	6	4
	全 損		2	1	1
	半 損		1	0	1
	小 損		7	5	2
り 災 人 員			10	17	△ 7
損 害 額 (千円)			27,937	21,229	6,708
損害額内訳	建 物	建 物	25,099	17,130	7,969
		収 容 物	2,425	3,905	△ 1,480
		小 計	27,524	21,035	6,489
	林 野		0	0	0
	車 両		208	151	57
	そ の 他		205	43	162

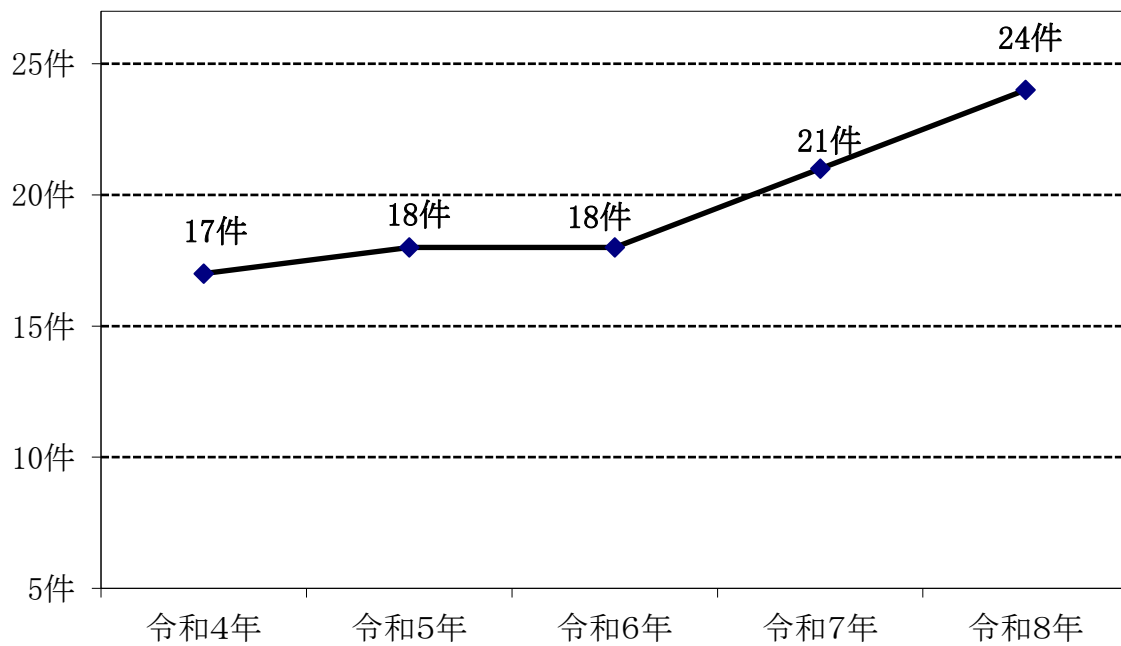
※損害額500円未満を「0」としている

地域別火災状況

区分			地域別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
火災件数	総 数		24	1	5	5	4	4	5	
	建物火災		9		3	2	2	1	1	
	林野火災		0							
	車両火災		3		1				2	
	その他の火災		12	1	1	3	2	3	2	
焼損棟数	総 数		13	0	2	6	2	2	1	
	全 焼		3			2		1		
	半 焼		1					1		
	部 分 焼		4			1	2		1	
	ぼ や		5		2	3				
焼損面積	建物床面積 (㎡)		734		3	361		370		
	建物表面積 (㎡)		7			2	4		1	
	林野 (a)		4						4	
死傷者	死 者		0							
	負 傷 者		4			2	1		1	
り災世帯	総 数		10	0	2	5	1	1	1	
	全 損		2			2				
	半 損		1					1		
	小 損		7		2	3	1		1	
り 災 人 員			10		3	2		1	4	
損 害 額 (千円)			27,937	0	258	1,056	256	26,191	176	
損害額内訳	建物	建 物	25,099		206	236	78	24,576	3	
		収 容 物	2,425		3	807		1,614	1	
		小 計	27,524							
	林 野		0							
	車 両		208		38				170	
	そ の 他		205		11	13	178	1	2	

※損害額500円未満を「0」としている

5年間(上半期)の火災の推移



月別・地域別・火災種別状況

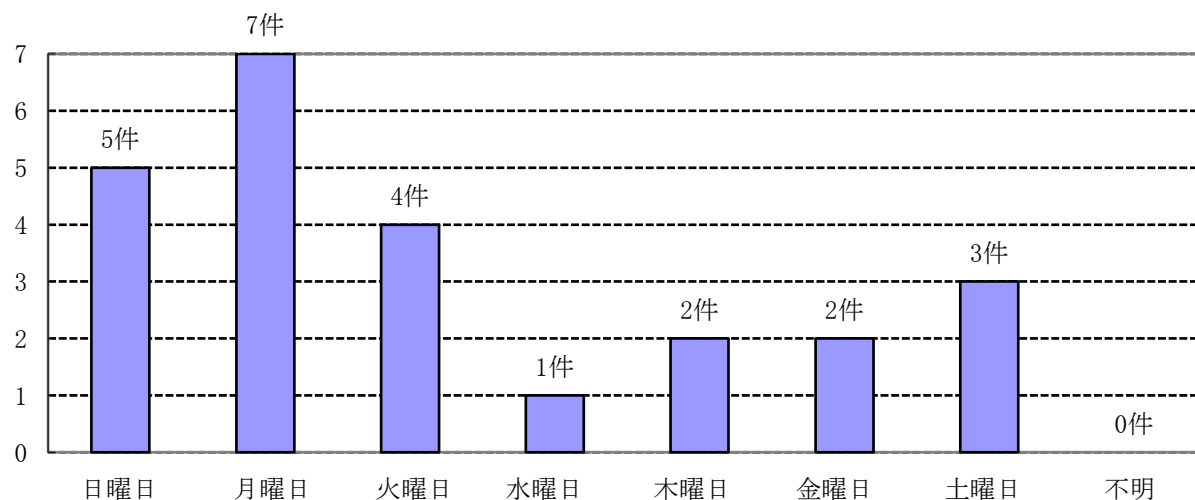
(単位:件)

月 別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月
区 分								
総数		24	1	7	9	2	4	1
地域別	柏 原	1			1			
	氷 上	5		2	1	1	1	
	青 垣	5	1	1	2	1		
	春 日	4		1	1		1	1
	山 南	4		1	1		2	
	市 島	5		2	3			
火災種別	建 物	9	1	2	3		3	
	林 野	0						
	車 両	3			2	1		
	その他	12		5	4	1	1	1

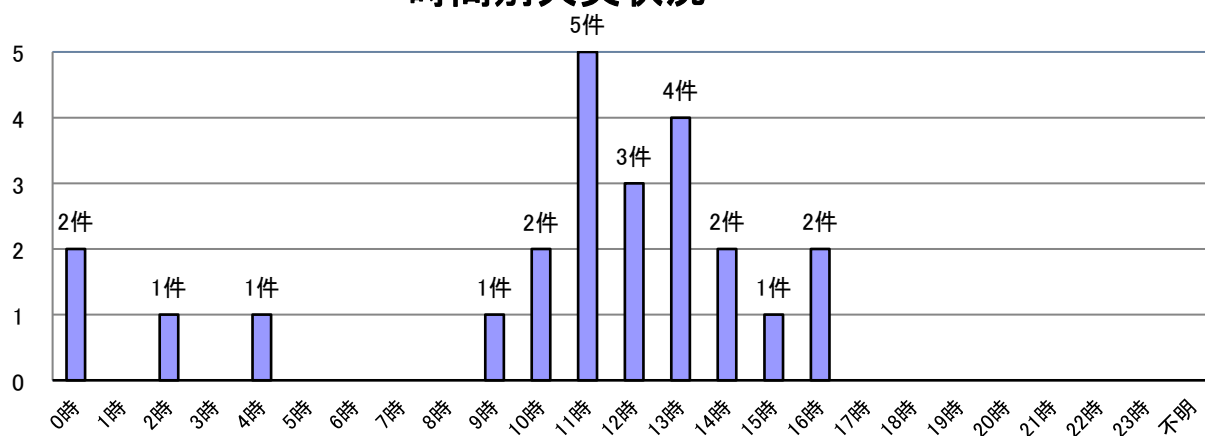
曜日別火災状況

(単位:件)

曜日別 地域別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明
総 数	24	5	7	4	1	2	2	3	0
柏 原	1			1					
氷 上	5	1	1		1			2	
青 垣	5	1	2			1	1		
春 日	4	2	1				1		
山 南	4		2	1				1	
市 島	5	1	1	2		1			

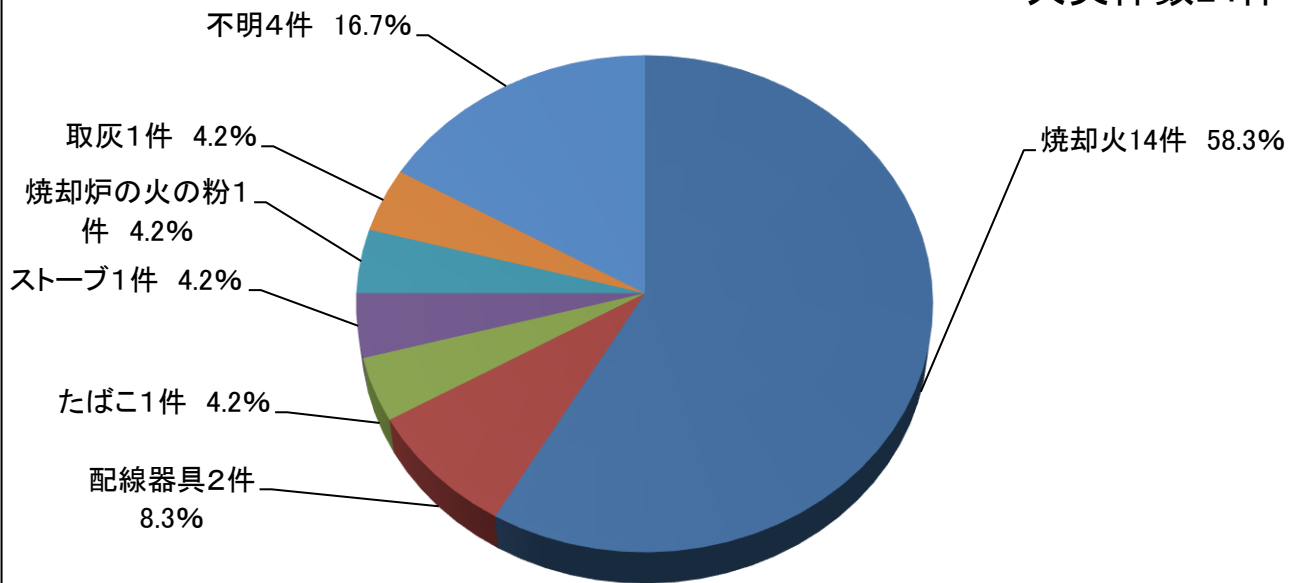


時間別火災状況



火災原因状況

火災件数24件



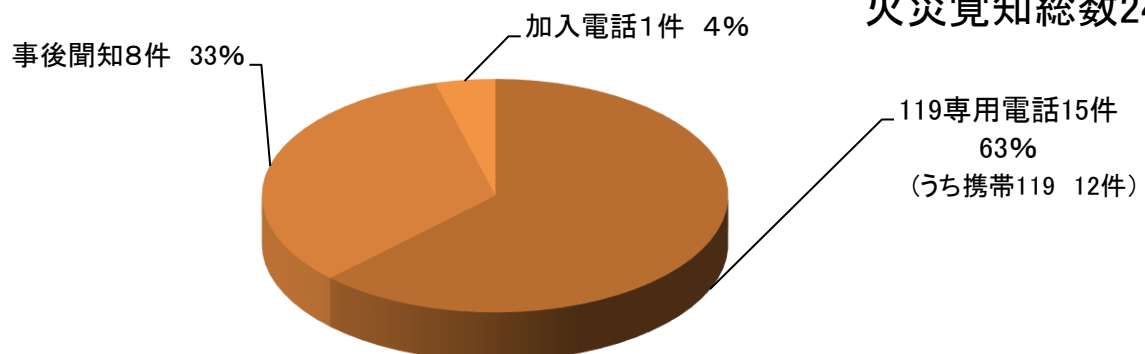
火災覚知状況

(単位: 件)

地域別 覚知別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
総 数	24	1	5	5	4	4	5
専用電話(119)	15	1	1	4	3	2	4
携帯119(内数)	12	1	1	3	2	2	3
加入電話	1					1	
警 察	0						
駆け付け	0						
事後聞知※	8		4	1	1	1	1
その他	0						

※ 事後聞知とは、火が消えた後に火災があったと通報を受けたものをいう。

火災覚知総数24件



2 救急の概要

令和8年上半期における救急出動件数は1,668件（前年同期より93件減）、搬送人員は1,582人（前年同期より87人減）である。

地域別では、青垣地域及び市外（前年同期より、青垣地域18件、市外2件各増）を除いた5地域で減少（前年同期より、柏原地域7件、氷上地域51件、春日地域1件、山南地域27件、市島地域27件各減）している。なお、1日の平均出動件数は9.2件となっている。

山南分駐所は24時間体制で運用し、276件（前年同期より9件減）出動している。山東出張所は昼間帯に市島救急駐在所、夜間帯に山東出張所での運用し、併せて391件（前年同期より4件増）出動している。青垣救急駐在所は、週5日（月～金）の昼間帯で運用し、90件（前年同期より3件減）出動している。

救急車による傷病者の搬送人員は、市内医療機関に1,174人（74.2%）、市外医療機関に396人（25.0%）、ドクターヘリ等に引き継いだのは12人（0.8%）となっており前年同期の市内収容率（72.0%）と比べ2.2%増加している。

ドクターヘリ・兵庫県消防防災ヘリコプターによる搬送人員は12人で、そのうち公立豊岡病院ドクターヘリが7人（前年同期より2人減）、兵庫県ドクターヘリが4人（前年同期より1人減）、兵庫県消防防災ヘリコプターが1人（前年同期より1人増）搬送している。また、ドクターカーによる搬送はなかった。（前年同期より1人減）

年齢別搬送状況では、65歳以上の高齢者が71.8%（1,136人）で、前年同期73.8%（1,232人）より2.0%減少しているが、依然として高齢者の占める割合は高い。

覚知から現場到着までの平均所要時間は10.5分（前年同期と同数）、覚知から病院収容までの平均所要時間は42.1分（前年同期と1.1分減）となっている。

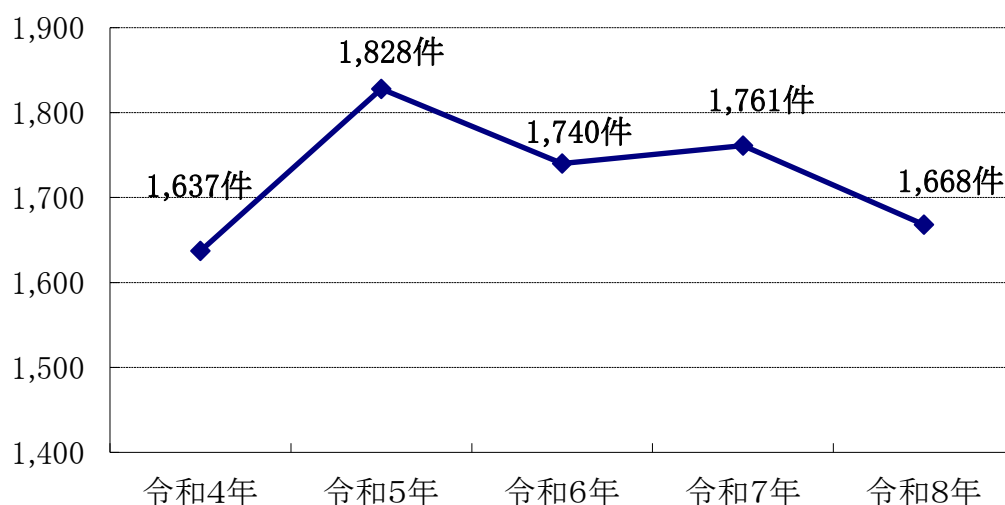
救急隊員が行った応急処置のうち、心肺機能が停止した36人に対して、救急救命士が行う救命処置として、器具を用いた気道確保を25件（うち気管挿管4件）、静脈路確保の輸液を18件、薬剤投与を7件、除細動を2件行っている。また、心肺停止前の静脈路確保の輸液を10件、ブドウ糖投与を5件行っている。

舞鶴若狭自動車道への救急出動件数は3件（前年同期より3件増）、北近畿豊岡自動車道への救急出動件数は3件（前年同期より4件減）である。

事故種別救急出動状況

事故種別 年別	令和8年上半期		令和7年上半期		比較増減 (△:減少)	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
総 数	1,668	1,582	1,761	1,669	△ 93	△ 87
火 災	4	2	4	2	0	0
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難事故	0	0	1	1	△ 1	△ 1
交通事故	85	83	72	67	13	16
労働災害	19	19	20	20	△ 1	△ 1
運動競技	9	9	12	12	△ 3	△ 3
一般負傷	268	262	270	251	△ 2	11
加 害	2	1	2	2	0	△ 1
自損行為	8	4	11	6	△ 3	△ 2
急 病	1,098	1,039	1,212	1,156	△ 114	△ 117
転院搬送	163	163	152	152	11	11
その他	12	0	5	0	7	0
1日当り平均出動	9.2		9.7			

5年間(上半期)の救急出動の推移



地域別救急出動状況

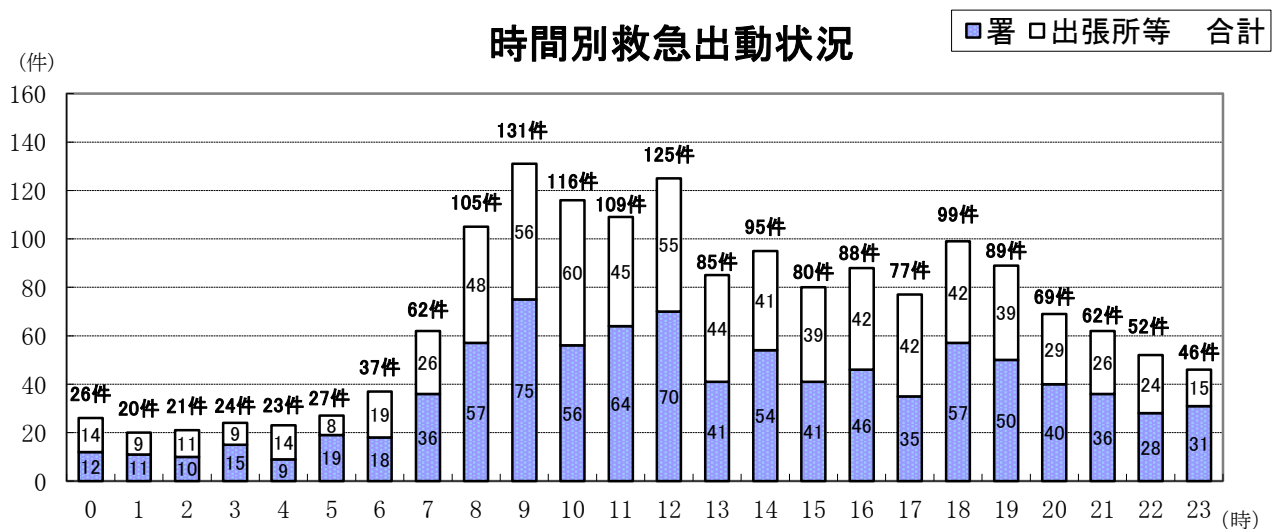
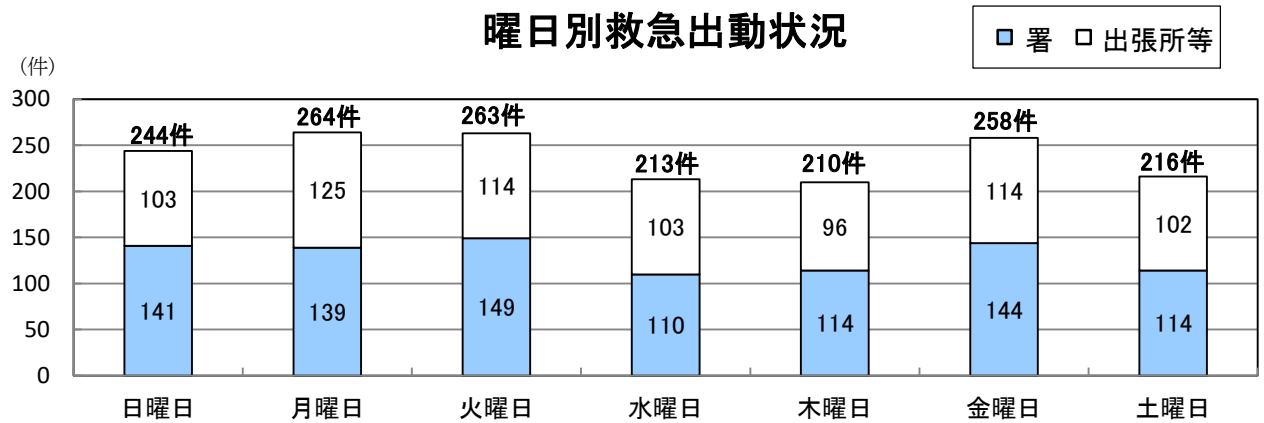
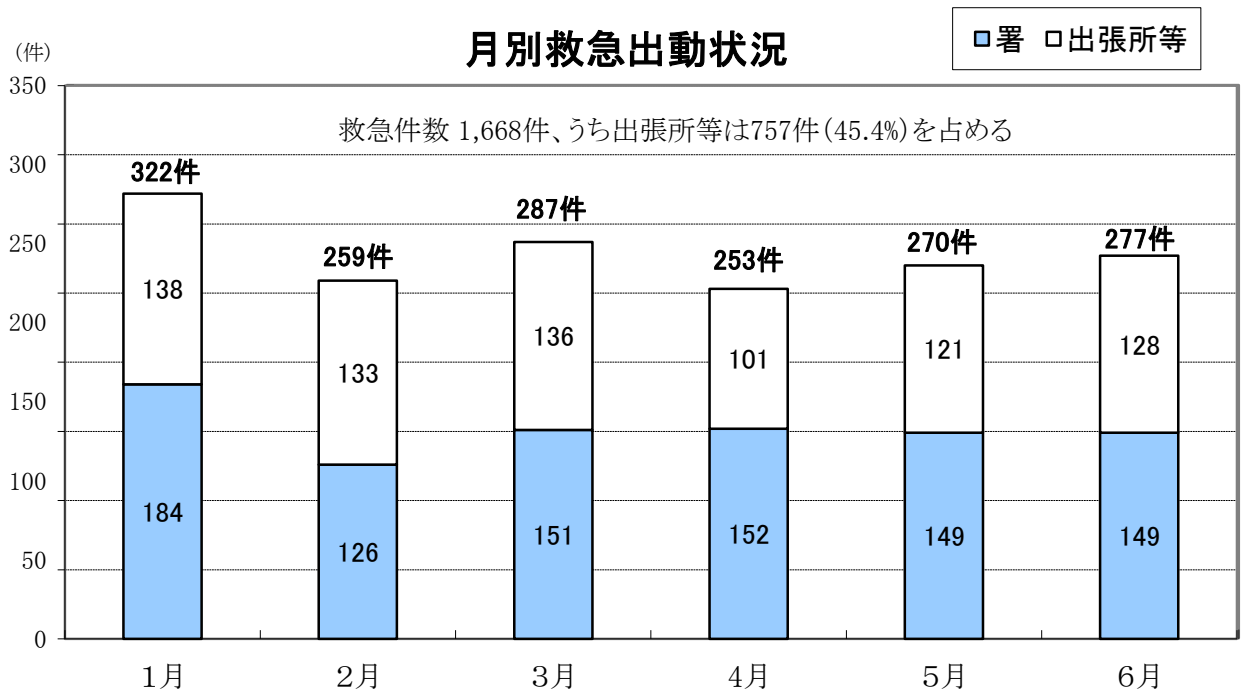
()内はうち数として駐在隊の件数と地域での割合 (単位:件)

年 別 地域別	令和 8 年上半期	令和 7 年上半期	比較増減 (△: 減少)
総 数	1,668 (757件 45.4%)	1,761 (772件 44.4%)	△ 93
柏 原	275 (9件 3.3%)	282 (5件 1.8%)	△ 7
氷 上	467 (40件 8.6%)	518 (31件 6.0%)	△ 51
青 垣	166 (61件 36.7%)	148 (65件 43.9%)	18
春 日	270 (197件 73.0%)	271 (191件 70.5%)	△ 1
山 南	289 (267件 92.4%)	316 (281件 88.9%)	△ 27
市 島	199 (181件 91.0%)	226 (192件 85.0%)	△ 27
市 外	2 (2件 100.0 %)	0 (0件 - %)	2

事故種別・救急隊別救急出動状況

(単位:件)

事故種別 救急隊別		総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その 他
出動件数		1,668	4	0	0	85	19	9	268	2	8	1,098	163	12
救急隊別	署	911	2			45	9	5	144		4	590	110	2
	青垣駐在	90				6			8		1	45	29	1
	山南分駐所	276				16	5	1	42	1	2	197	8	4
	市島駐在	185	1			11	4	1	36	1		115	13	3
	山東出張所	206	1			7	1	2	38		1	151	3	2
不搬送件数 (総数の内数である)		97	2			13			6	1	4	59		12
搬送人員		1,582	2	0	0	83	19	9	262	1	4	1,039	163	0
救急隊別	署	872	1			42	9	5	141		2	562	110	
	青垣駐在	85				5			8			43	29	
	山南分駐所	254				18	5	1	41	1	1	179	8	
	市島駐在	176	1			10	4	1	36			111	13	
	山東出張所	195				8	1	2	36		1	144	3	



山南分駐所
 市島救急駐在所
 山東出張所
 青垣救急駐在所

24時間体制
 昼間帯(8時30分から17時15分まで)
 夜間帯(17時15分から8時30分まで)
 月曜から金曜の昼間帯(8時30分から17時15分まで)

事故種別・傷病程度別搬送状況

(単位:人)

種別 程度別	総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他
総 数	1,582	2	0	0	83	19	9	262	1	4	1,039	163	0
死 亡	32				1			5		2	24		
重 症	207	1			6	6		31		1	112	50	
中等症	692				13	7	2	93		1	478	98	
軽 症	651	1			63	6	7	133	1		425	15	
その他	0												

死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの

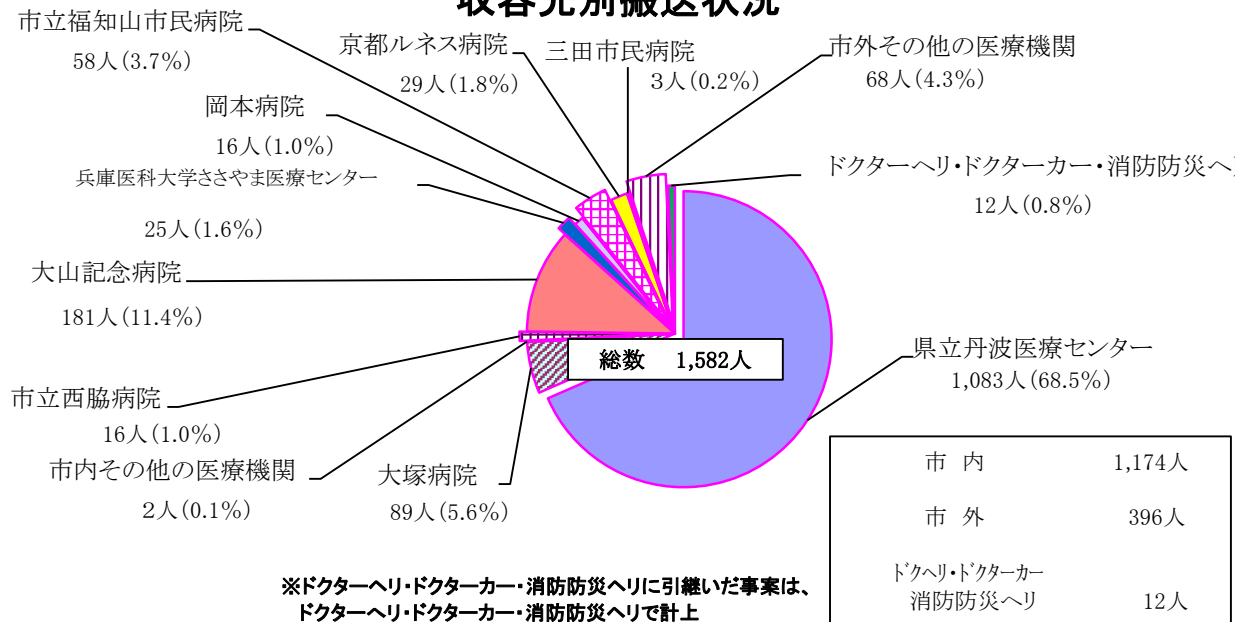
重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症には至らないもの

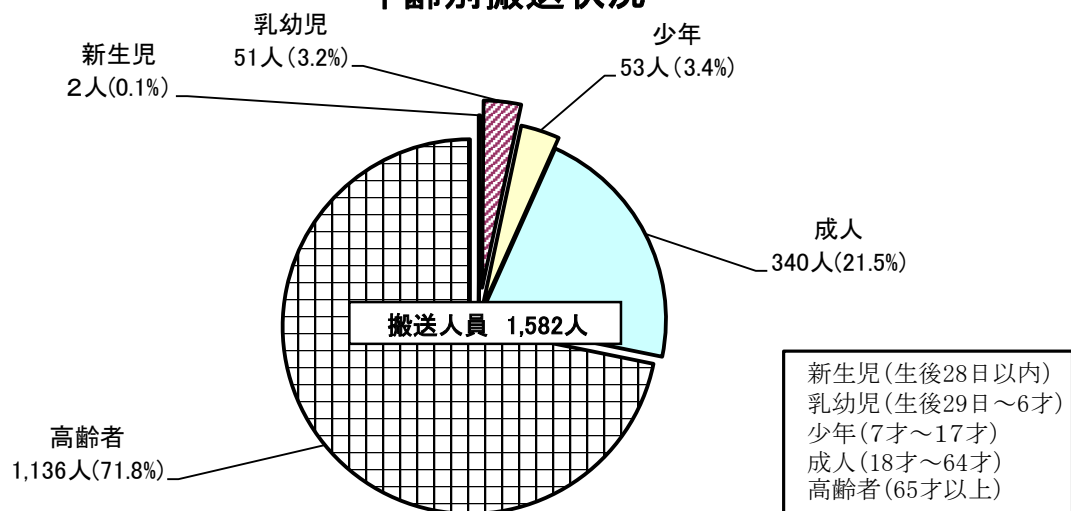
軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他・・・医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

収容先別搬送状況



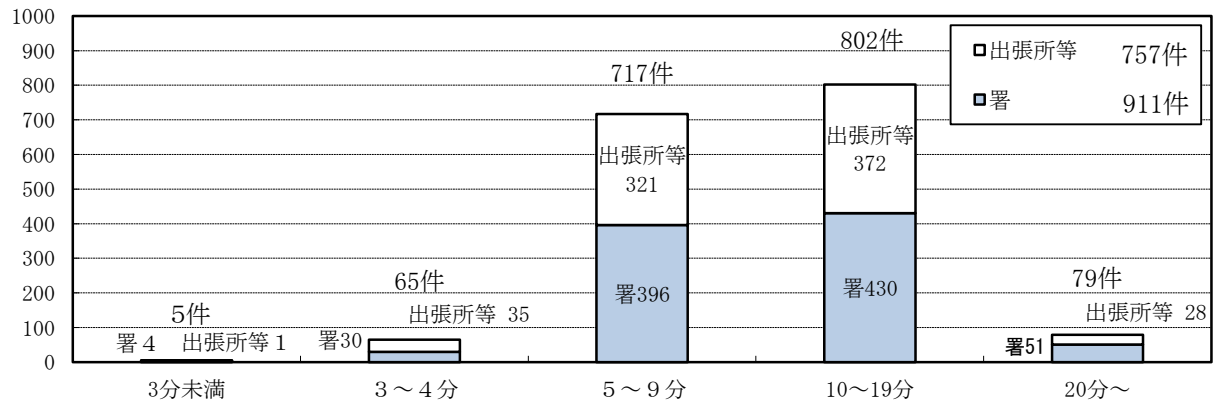
年齢別搬送状況



覚知から現場到着までの所要時間

所要時間	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	1,668	275	467	166	270	289	199	2
現場 まで (件数)	3分未満	5	2	2		1		
	3～4分	65	15	16	15	2	13	4
	5～9分	717	165	228	33	96	128	67
	10～19分	802	90	212	89	160	141	109
	20分～	79	3	9	29	12	6	19
平均(分)	10.5	8.8	9.6	14.0	11.2	10.0	11.9	20.0
最長(分)	40.0	33.0	29.0	40.0	29.0	27.0	27.0	22.0
最短(分)	1.0	1.0	1.0	3.0	4.0	1.0	3.0	18.0

※現場到着までの所要時間の中には、待機場所以外からの出動又は中継したものを含む。

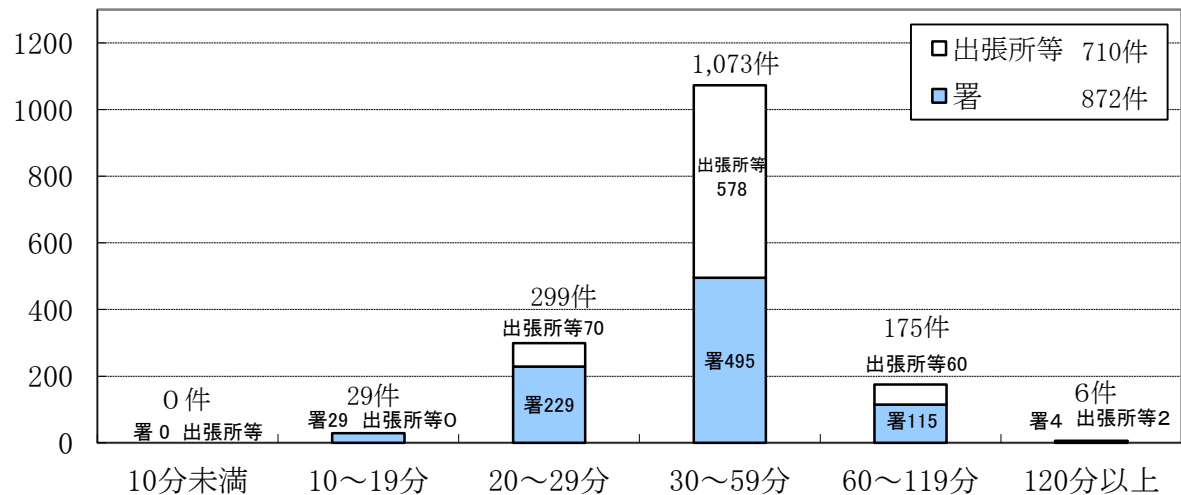


覚知から病院収容までの所要時間

所要時間	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	1,582	266	449	158	255	265	188	1
病院 まで (人数)	10分未満	0						
	10～19分	29	20	9				
	20～29分	299	96	136	12	20	34	1
	30～59分	1,073	136	231	121	206	206	173
	60～119分	175	14	71	25	28	22	14
	120分以上	6		2	1	3		
平均(分)	42.1	34.8	41.5	47.2	43.2	42.8	46.9	63.0
最長(分)	180.0	119.0	137.0	95.0	132.0	180.0	79.0	63.0
最短(分)	13.0	13.0	13.0	24.0	24.0	22.0	28.0	63.0

※不搬送件数97件である。

※ヘリコプターへの引き継ぎ事案は、傷病者をヘリコプターに収容した時間を病院収容時間として計上している。



応急(救命)処置状況(医療機関等に搬送するまでに行った処置)

(単位:回)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員 ※1	1,581	1,039	83	262	197
止血	22	2	1	15	4
固定	63	2	33	23	5
人工呼吸	0				
胸骨圧迫	0				
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	0				
心肺蘇生	36	28		6	2
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	23	18		3	2
酸素吸入	348	258	10	25	55
気道確保	41	30	1	6	4
(うち、経鼻エアウェイ使用)	0				
(うち、喉頭鏡・鉗子等使用)	3			3	
(うち、リソグアルマスク等による気道確保)	21	18		2	1
(うち、気管挿管)	4	1		2	1
保温	182	122	8	29	23
被覆	56	2	9	39	6
在宅療法継続処置	13	12		1	
ショックパンプ使用	0				
除細動(AED使用)	2	2			
静脈路確保(心肺停止状態の輸液)	18	14		4	
うち、アドレナリン投与	7	6		1	
静脈路確保(心肺停止前の輸液) ※2	10	10			
うち、ブドウ糖溶液投与 ※2	5	5			
血糖測定 ※1	31	30		1	
エピペン投与	0				
その他の応急処置	1,546	1,014	82	256	194
血圧測定	1,503	986	81	243	193
聴診器による心音、呼吸音の観察	335	247	30	28	30
血中酸素飽和度の測定	1,542	1,011	82	254	195
心電図の測定	1,164	843	44	143	134
合 計	6,924	4,624	381	1,074	845

※1 No.87救急出動は応急処置を実施していないため、応急処置対象人員外である。

※2 平成28年2月から運用を開始

心肺停止傷病者発生状況

(単位:人)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
心肺停止傷病者数 ※2	36	28		6	2
うち、心拍再開 ※3	3	3			
覚知から現場到着までの所要時間	0～2分	0			
	3～4分	0			
	5～9分	13 (2)	10 (2)	2	1
	10～19分	21	16	4	1
	20分以上	2 (1)	2 (1)		
覚知から現場到着までの平均時間(分)	11.2	11.3		11.5	8.5
覚知から病院収容までの平均時間(分)	33.7	34.3		31.5	31.0

※2 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を除く

※3 ICU・病棟入院があった者で、外来処置室で死亡した者を含まず

() は内数で、心拍の再開を示す。

応急手当の実施状況

心肺停止時の状況			搬 送 者 数（心肺停止傷病者の内訳）			
			AEDの装着	心拍再開	1ヵ月生存者	
目撃あり	一般市民による 目撃あり	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし	4			
		バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり ※4	8	2		1
	救急隊・消防隊による 目撃あり		7		2	
目撃なし	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし		7			
	バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり		10	2	1	1
合 計			36	4	3	2

() は内数で、バイスタンダーによる除細動の実施を示す。

※4 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を含む

3 救助の概要

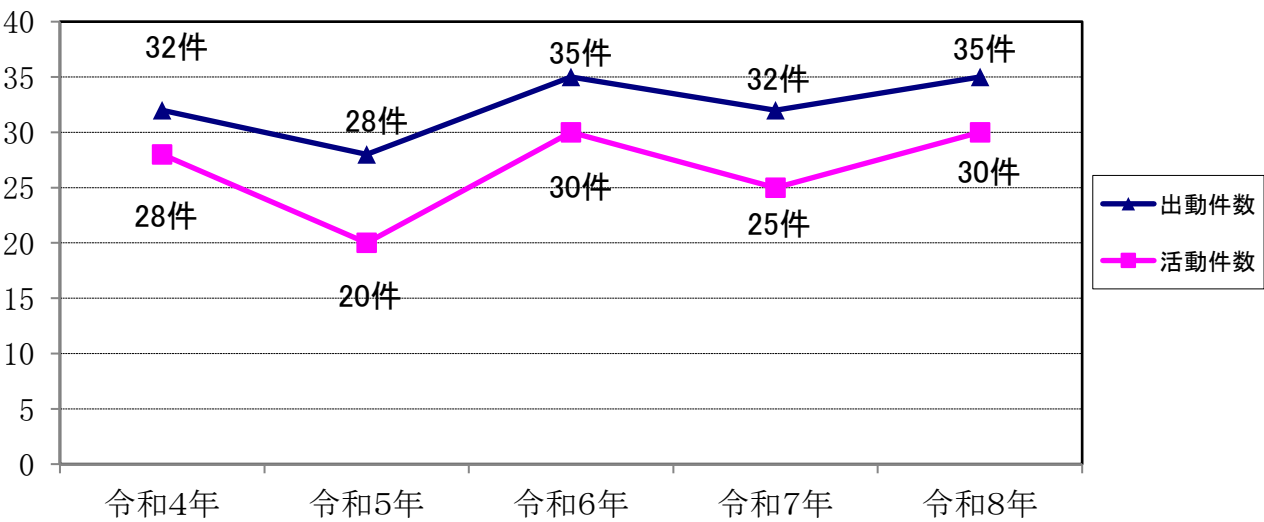
救助件数は35件(前年同期より3件増)で、うち活動件数は30件(前年同期より5件増)となっている。

出動した事故の内訳は、「交通事故」13件、「水難事故」1件、「機械事故」0件、「建物等による事故」15件、「ガス酸欠」1件、「その他の事故」5件である。

救助出動状況

地域別 事故種別		総数	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠	爆発 事故	その 他
			建物	以外								
総 数	出動件数	37	0	0	13	1	0	0	15	1	0	7
	活動件数	30	0	0	13	1	0	0	12	1	0	3
柏 原	出動件数	4							4			
	活動件数	3							3			
氷 上	出動件数	10			4				5			1
	活動件数	9			4				4			1
青 垣	出動件数	2							1			1
	活動件数	2							1			1
春 日	出動件数	5			4							1
	活動件数	4			4							
山 南	出動件数	6			2				3	1		
	活動件数	6			2				3	1		
市 島	出動件数	7			3				2			2
	活動件数	5			3				1			1
市 外	出動件数	1				1						
	活動件数	1				1						
救助人員		15			8				4			3
搬送人員		10			6				3			1

5年間(上半期)の救助出動の推移



4 その他の災害出動の状況

火災出動、救急出動及び救助出動以外の出動件数。

(単位:件)

地域別 種別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	101	27	26	11	18	8	9	2
警 戒	8	1	2	2		2	1	
誤 報	21	8	6	1	3		2	1
虚 報	0							
支 援	67	18	17	6	14	6	5	1
その他	5		1	2	1		1	

分類 ・『警戒』とは、ガス漏れや油漏れ等で火災になる恐れがある場合に出動したもの。

・『誤報』とは、「火災」「火災かも」という通報で出動したが、実際は火災でなかったもの。

・『虚報』とは、「火災」という通報で出動したが、火災に該当する事実がなく、偽りの通報によるもの。

・『支援』とは、活動困難な現場で万全な消防・救護活動等を行えるように支援目的をもって出動したもの。

・『その他』とは、焼却による煙害等、その他の消防目的をもって出動したもの。

5 応援・受援状況

市外への出動隊数と、隣接消防本部等からの受援隊数を次のとおり分類している。

地域別 種別	市外への応援出動隊数							受援隊数
	総 数	丹波篠山市	西脇市	多可町	朝来市	福知山市	隣接外	市 域
総 数	8	8	0	0	0	0	0	3
火 災	0							
救 急	2	2						2
救 助	2	2						
その他	4	4						1

6 緊急通報センター等

・緊急通報システムの端末機設置台数は、6月30日現在242台で、前年同期より40台減である。

・緊急通報システムによる緊急通報は17件(前年同期より4件増)で、救急車が出動し搬送した件数は13件である。

・聴覚障がい者等緊急通報システム(Net119)による救急通報件数は0件、登録者は21名、FAX119による救急通報は0件。

地域別 区分	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
緊急通報	17	2	2		1	12	
緊急外通報(相談等)	12					12	
緊急外通報(停電・うっかり押し)	14	1	1	1	5	4	2
管理	39	1	12	3	5	11	7
設置台数	242	18	41	27	51	51	54



令和8年7月作成

丹 波 市 消 防 本 部

T E L 0795－72－2255

F A X 0795－72－1155